

日本アディクション看護学会 News Letter 第 20 号

2012年 12 月 31 日 発行

日本アディクション看護学会事務局

日本アディクション看護学会第 11 回学術大会開催を終えて

第 11 回学術大会大会長 日下修一
(獨協医科大学大学院看護学研究科准教授
獨協医科大学看護教育センター)

日本アディクション看護学会第 11

回学術集会は平成 24 年 9 月 29 日

(土)・30 日(日)に終了いたしました。



第 11 回学術大会大会長
日下修一准教授

獨協医科大学全貌(写真提供日下先生)



あいにく、台風の接近等のため、公共交通機関の運休などがあり、予定していた方々が参加出来なかったという声を多数いただきました。

天候によるアクシデントととはいえ、
多数の皆様にご迷惑をおかけいたし
まして、申し訳ございませんでした。
また、開催地が交通の便が悪い場所
(単線である東武宇都宮線沿線)とい
う悪条件もありました。実行委員等も
含めた参加者は両日で、156名であり、
悪条件の下としてはまずまずの参加
者でした。特に、九州や北海道など遠
方から参加された参加者の方々に、お
礼申し上げます。



座長：目白大学大学院教授
刀根洋子先生

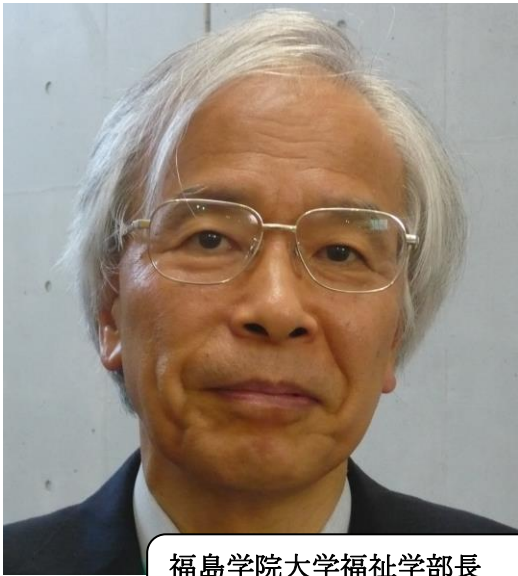
今回の大会テーマ「機能不全家族と
アディクション看護」にそって、初日
は大会長講演「機能不全家族とアディ
クション看護」、東邦大学大学院安田
美彌子先生による

記念講演「共依存と家族の問題」、



記念講演：東邦大学大学院教授
安田美彌子先生





福島学院大学福祉学部長
星野仁彦先生

福島学院大学福祉学部長星野仁彦先生による教育講演「機能不全家族が引き起こす諸問題」、

シンポジウム「機能不全家族が引き起こす諸問題」が行われ、機能不全家族について様々な角度から報告がなされました。



アディクション看護を語ろう

2日目は、一般演題、ポスター発表、交流集会として、「断酒会公開例会」、「アディクション看護学教育」、「アディクション看護を語ろう」、「栃木ダルクのプログラム」、「アルコール依存症からの回復を促進するために設立したグループ「酒害者回復クラブ」の取り組み」などが行われました。





また、日本精神看護技術協会栃木支部
企画「価値への協調を表明する技術：
コンコーダンス・スキルの紹介」、特
別企画として「東日本大震災によるア
ディクションへの影響はあったか」の
テーマで安保寛明（岩手晴和病院）氏
を中心に、8名のシンポジストを招き、
災害とアディクション看護に関して
報告していただきました。2日目の企
画では台風の影響を受けて、実際の参
加者が少なく、閑散とした感じがあっ
た事は否めませんが、少人数ながら、

どの会場の内容も充実していたと思
います。

《編集後記》

第11回日本アディクション看護学会学
術集会開催内容を載せた「News Letter 第
20号」を発行することができました。
発行が遅れましたことをお詫び申し上げま
す。（荒木）

《事務局からお知らせ》

学会費未納の方は、振込用紙を同封させて
いただきました。また、ホームページから
ダウンロードもできます。年度内のお振込
みにご協力お願いいたします。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jaddictn/>

現在会員数:160名 (2012.6.1現在)

【事務局所在地】〒350-1241

埼玉県日高市山根 1397-1 埼玉医科大学
保健医療学部看護学科 丸山昭子研究室

日本アディクション看護学会事務局

TEL・FAX 042-984-4925 (丸山直通)

【事務局 e-mail】

issan@saitama-med.ac.jp

日本アディクション看護学会補助機関誌

ニュース・レター 第20号

発行：平成24年12月31日

編集長：荒木 とも子

発行者：丸山 昭子

日本アディクション看護学会事務局